



平成26年10月14日

各 位

会 社 名 東邦ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 濱田 矩男
(コード番号 8129 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役コーポレート・コミュニケーション室長
兼 経営企画室長 加藤 勝哉
(電話 03-6838-2803)

第6回ロボット大賞 優秀賞受賞のお知らせ

この度、当社の完全子会社である東邦薬品株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：河野博行）は、経済産業省主催の「第6回ロボット大賞」（共同主催：一般社団法人日本機械工業連合会）において、「ロボットビジネス・社会実装部門・優秀賞」を受賞いたしましたのでお知らせいたします。受賞対象は、TBC 埼玉で構築した『医薬品物流センター高度化ロボットシステム』で、株式会社ダイフク、日本電気株式会社、株式会社安川電機との4社共同プロジェクトで応募いたしました。

尚、2014年10月15日（水）から17日（金）まで東京ビッグサイトで開催されます「Japan Robot Week 2014」において表彰式ならびに受賞ロボットに関する展示が行われます。

記

1. TBC 埼玉の概要とロボット開発の経緯

TBC（東邦物流センター）埼玉は2013年12月に、埼玉県久喜市に新設され、医療用医薬品を中心に約28,000アイテム（種類）を取り扱う大型物流センターです。当社では全国の物流センターの開設にあたり、医薬品という生命関連商品の供給において、正確性（Accuracy）、ロット管理（Traceability）、継続性（Business Continuity Planning）という社会的使命を常に追求し続けてまいりました。それは全国の医療機関に、医薬品を安全・安心な流通形態でお届けしたいとの願いからです。一方、社会環境に目を向けると少子高齢化社会に突入し、労働力確保が厳しくなる中、生産性の向上が大きな課題となっております。

当社はこれら社会的使命と社会環境変化にいち早く対応するために出荷精度99.99999%（セブン9）を目指し、同時に企業としての効率性、合理性を追求するために、極限まで物流を自動化する選択をいたしました。

流通業では多種多様な商品を扱うためロボットの活用は難しいと言われていましたが、その困難な問題に敢えて挑戦し、生産性向上の成果を出した点が高く評価されました。実際にTBC埼玉では20台のロボットを導入することによって、梱包単位商品（ケース品）のピッキングは85%以上を完全自動化し、包装単位商品（ピース品）のピッキングはロボットが全体の63%を行っております。

（株）ダイフクはマテハン（物流設備）メーカーとして世界的に活躍していますが、流通業の物流で自動倉庫とロボットを統合したのは初めてのケースです。当社の要望を実現するために技術的な挑戦を繰り返し、本件関連の特許申請件数は全部で24件になりました。ロボット本体は（株）安川電機、物流システムは日本電気（株）が担当し、ロボットの実用化にご協力いただきました。

2. 受賞内容

TBC埼玉の『医薬品物流センター高度化ロボットシステム』

- ① 16台のロボットが大きさや重量も違う包装単位商品（ピース品）を自動倉庫からピッキングすると同時に、コンベア上でオーダー毎に自動振分けし、オーダー別のトレイに投入するところまで自動化。
- ② 2台のロボットが梱包単位商品（ケース品）をパレット自動倉庫からピッキングすることで、コンベア搬送から元梱自動倉庫への自動入庫までを完全無人化。
- ③ 梱包単位商品（ケース品）をカーゴ台車に積載する作業を完全自動化。コンピュータが積み方をシミュレーションし、最適な積載方法を自動的に導き出し、人手を介することなくカーゴ台車へロボットが積載する。

《審査委員会講評》

生産性が50%向上するなど、ロボット導入によって物流サービスにおけるイノベーションを達成しており、ロボットの社会実装の好例として評価された。

3. 「ロボット大賞」について

「ロボット大賞」（主催：経済産業省、一般社団法人日本機械工業連合会）は我が国のロボット技術の革新と用途拡大及び需要の喚起を促すために、優れたロボットや部品・ソフトウェア等から、将来の市場創出への貢献度や期待度が高いと判断されるロボットやRT要素技術、その応用により有効性を提示したビジネスモデル等も含めた表彰を行っております。その応用により有効性を提示したビジネスモデル等も含めた表彰を通じて、以下の3項目の実現を目的としております。

1. ロボット／RTの実用化を促進し、研究開発の高度化ならびに次代の人材育成につなげる
2. ロボット／RTを有効に活用し、様々な課題のソリューションを提示する
3. ロボット／RTを公知し、その社会実装による新社会システムの実現と産業創出に結び付ける

*RT：ロボット技術を広義に捉えた概念であり、ソリューションビジネス産業への移行を促す産業戦略を表現したキーワードでもある。

以上